

学習目標		
(1) 創造的に表現したり鑑賞したりする態度を育てるとともに、つくりだす喜びを味わうようにする。 (2) 材料などの特徴をとらえ、想像力を働かせて発想し、主題の表し方を構想するとともに、様々な表し方を工夫し、造形的な能力を高めるようにする。 (3) 親しみのある作品などから、よさや美しさを感じ取るとともに、それらを大切にできるようにする。		
	単元・題材名	学習の内容
4月	よく見てかこう	・ 顔や手などの特徴をよく見て描き、構図や色の使い方を工夫する。
5月	想像のつばさを広げて	・ 自由に想像を広げて表す。
6月	絵巻物にまとめよう	・ 修学旅行の思い出について表し方を工夫し、絵巻物にまとめる。
7月	くるくるクランク	・ クランクで動く仕組みから思いついたものをつくる。
9月	筆あとと研究室	・ いろいろな筆あとの特徴から、感じたことを話し合う。
10月	物語から広がる世界	・ 心が動いた物語の場面から、想像を広げて表す。
11月	12年後のわたし	・ 将来の自分を想像して立体に表す。
12月	わたしの大切な風景	・ 目の前の対象を見つめ、大切に思う風景を表す。
1月	味わってみよう和の形	・ 古くから生活の中で親しまれてきた日本の美術のよさや美しさを味わう。
2月	卒業制作 (オルゴール)	・ 彫刻刀の彫りの効果を考えて、彫刻刀を使い分け、できた作品を鑑賞し合う。
3月		
評価の観点		
<b>【造形への関心・意欲・態度】</b> 自分の思いをもって表現したり、鑑賞したりしながら、つくりだす喜びを味わおうとする。		
<b>【発想や構想の能力】</b> 感じたことや見たこと、材料や場所などの特徴を基に表したいことを思い付いたり、形や色、用途や構成などを考えたりしている。		
<b>【創造的な技能】</b> 感覚を働かせたり、経験を生かしたりしながら、表したいことに合わせて材料や用具を使い、様々な表し方を工夫している。		
<b>【鑑賞の能力】</b> 親しみのある作品などの形や色などから、表現の意図や特徴をとらえたり、よさや美しさを感じ取ったりしている。		
評価の方法		
学習用具や材料の準備 活動の様子 作品 発言 鑑賞カード (自己評価 相互評価) など		